

1-23 各部の基本納まり図

9) 開口部下側

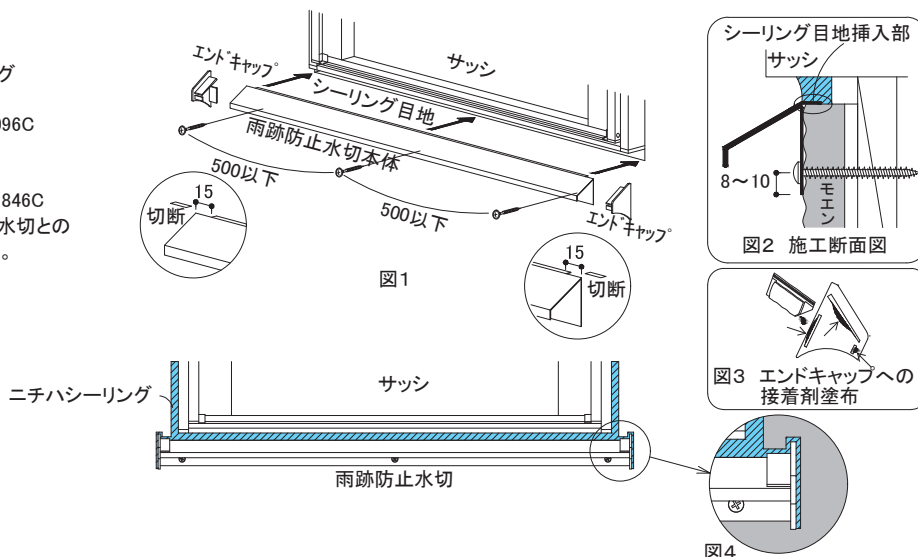
■長尺鋼板タイプの取り付け方法

雨跡防止水切は、必ず開口部まわりのシーリング充填前に取り付けます。

- 本体鋼板部材を、シーリング目地の端部よりも両端15mm程度ずつ長くなるように切断し、切断小口にバリや変形が見られる場合は修正してください。両端の15mm程度長く取った部位は、シーリング目地挿入部を切断してください。(図1参照)
- 本体鋼板部材の外壁面への取り付けは、シーリング目地挿入部をシーリング目地に差し込み、サッシに対し水平になるように、φ3mm程度の先孔をあけて同梱専用ビスにて取り付けます。
同梱専用ビスは、最低両端部の2ヶ所以上、中間部は500mm以下の間隔で、背板の下端より8～10mmの位置に取り付けます。(図1、図2参照)
- 同梱のエンドキャップは、本体鋼板部材を外壁面に取り付けた後に、同梱接着剤を塗布し、接着剤のはみ出しに注意して取り付けます。(図3参照)
- 本体鋼板部材とエンドキャップがしっかり固着していることを確認の上、ニチハシーリング(※)を、シーリング目地およびエンドキャップ施工部位まわりに充填します。(図4参照)

本部材と同系色のニチハシーリング

- ・KA3051(ホワイト)向け: FCT1381C
 - ・KA3071(クリスタルグレー)向け: FCT5096C
 - ・KA3091(ブラウン)向け: FCT115C
 - ・KA3088(ブラック)向け: FCR5027C
 - ・KA3072(ブラチナシルバー)向け: FCT1846C
- ※市販のシーリングは、雨跡防止水切との密着性確認がとれておりません。



■ピースタイプの取り付け方法

雨跡防止水切は、開口部まわりのシーリング充填後に取り付けます。

- 本部材の外壁面への取り付けは、部材端部がシーリング目地よりも外側に10mmはみ出すように、φ3mm程度の先孔をあけてから、同梱専用ビスにて取り付けます。
- 本部材を取り付けた後、ニチハシーリング(※)を、本部材まわりに充填します。

本部材と同系色のニチハシーリング

- ・KA4051R(ホワイト)向け: FCT1381C
 - ・KA4071R(クリスタルグレー)向け: FCT5096C
 - ・KA4091R(ブラウン)向け: FCT115C
 - ・KA4088R(ブラック)向け: FCR5027C
 - ・KA4072R(ブラチナシルバー)向け: FCT1846C
- ※市販のシーリングは、雨跡防止水切との密着性確認がとれておりません。

